

開会式

9:30～9:50

口演 I ライフサポート

9:50～10:50

座長：玉木 彰子 (国立療養所沖縄愛楽園 看護師長)

- O-1 2022年度のライフサポート活動からみえた課題と展望
国立駿河療養所 ライフサポート委員会
○田邊昌哉、鈴木久美子、山竹寿享、山角泰清
- O-2 ハンセン病療養所A園における入所者と家族のつながりを支援する看護師の役割
国立療養所奄美和光園 不自由者棟¹⁾、国立療養所宮古南静園²⁾
○肥後加奈美¹⁾、巴 誉子¹⁾、坂口静香¹⁾、川畑恵理¹⁾、坂口一彦¹⁾、今里憲太郎²⁾
- O-3 自舎生活を強く要望する入所者の思いを支援する看護職員の想い
国立療養所奄美和光園 病棟
○川畑正子、徳武真由美、傳 幹廣、山口千春、坂口一彦、窪田マキ
- O-4 A園において別居生活を送っている高齢者夫婦の望む暮らし - 生活が安らぎの場となる事をめざして -
国立療養所沖縄愛楽園 第2センター
○川満久乃、長田健二、山城一二、仲里正子、上原智子、友利恵利子
- O-5 A氏が楽しいと感じる活動を取り入れた介護実践
国立療養所菊池恵楓園 第1センター
○佐藤 大、坂本一心
- O-6 入所者の思いに添った生活支援を目指して ～A氏の望む「料理」に取り組んで～
国立療養所菊池恵楓園 第二センター
○山口孝雄、川上雄一、北岡寿隆

特別講演

10:50～11:50

座長：北島 信一 (国立駿河療養所 所長)

般若心経のころ ～今を生きる空の教え

駒沢女子大学 学長

安藤嘉則

教育講演

13:00～14:00

座長：佐々木麻里子（国立駿河療養所 副総看護師長）

神山復生病院に与えられた使命を果たし続けるために

神山復生病院 看護部長

杉山美貴子

口演Ⅱ ライフサポート／看護の質の向上

14:00～15:00

座長：倉富 明美（菊池恵楓園 看護部長）

- O-7 高齢入所者に対する笑いヨガの身体的・心理的効果の検証
国立療養所東北新生園 第1メープルケアセンター1F
○梁川直美、鈴木淑生、川名久美子、佐竹澄江、千葉裕子
- O-8 100歳を超えたハンセン病回復者のBPSDの緩和を目指したエンドオブライフケア
国立療養所長島愛生園 第二センター¹⁾、ハンセン病倫理研究会²⁾
○森 舞子¹⁾、中山尚光¹⁾、山根由佳¹⁾、太西邦子¹⁾、近藤真紀子²⁾
- O-9 認知機能低下予防教室活動による入所者の意欲の変化 ～脳活性化リハビリテーション5原則に基づいた関わりを通して～
国立療養所宮古南静園 外来治療棟
○砂川千秋、花城正信、垣花良子、照屋純二、大浦桂子、幸地友恵
- O-10 食事アンケートからみた今後の課題と展望
国立療養所多磨全生園 栄養管理室
○鈴木旺子、風見太一、森山 裕
- O-11 入所者主体のレクリエーションを通じてもたらされる効果
国立駿河療養所 病棟・治療棟・第1センター
○吉永元子、小阪美菜子、富高一生、金沢耕人、島田春美、山竹寿享
- O-12 A氏的意思決定を引き出す関わりがもたらした生活行動の変化 – A氏主体の援助を取り入れたコミュニケーション技法を用いて –
国立療養所沖縄愛楽園 第1センター
○松田和成、金城ひとみ、平良政江、小川広造、具志堅誠、宮城桃子、諸喜田尚深、富さなえ

□演Ⅲ 看護の質の向上

15:00～16:00

座長：秋田 倫枝（国立療養所長島愛生園 看護部長）

- O-13 ユニットケア体制の再構築に向けた取り組み - Bセンターのユニットケア評価から見えた課題 -
国立療養所沖縄愛楽園 看護師長会¹⁾、前国立療養所沖縄愛楽園²⁾
○友利恵利子¹⁾、西 芳江¹⁾、富さなえ¹⁾、清田喜代美¹⁾、平良恵美子²⁾、高木範子²⁾
- O-14 ハンセン病療養所の介護長が管理業務を行う上で感じている困難と対処
国立療養所多磨全生園 独立行政法人国立病院機構神奈川病院 元国立療養所多磨全生園
○岩崎徹也、田崎明子、高橋 勝、梶原順子
- O-15 B棟における訪問看護に対する看護師の認識と現状
国立療養所沖縄愛楽園 治療棟・治療センター
○翁長由記子、仲榮眞有加、仲尾早織、大内和歌子、長谷真由美
- O-16 一般舎で生活するハンセン病回復者の心身の変化に即したアセスメント項目の検討 - 13年前の調査と比較して -
国立療養所長島愛生園 外来¹⁾、ハンセン病倫理研究会²⁾
○大饗直樹¹⁾、長谷井友栄¹⁾、中島康智¹⁾、近藤真紀子²⁾
- O-17 看護職・介護職によるオムツ交換場面での手指消毒に関する実態調査 ～モデル人形を用いての直接観察法～
国立療養所星塚敬愛園 バラ
○庄屋佐百合、川前智子、黒瀬恒人、中尾恵美、田邊 彩
- O-18 ハンセン病後遺症のある高齢者の皮膚の保湿状態とスキンケアに関連する生活習慣の実態調査
国立療養所星塚敬愛園 外来
○畠中希美、巻木はるみ、芝原さとみ、上四元恵理子、山田初江、田代圭子

□演Ⅳ 教育／医療安全

16:00～17:00

座長：島田 春美（国立駿河療養所 副看護師長）

- O-19 夜間ナースコールの現状調査から考える援助のあり方
国立駿河療養所 病棟・治療棟・第1センター
○池田昭子、和田将樹、千田正彦、島田春美、山竹寿享
- O-20 爪外来での統一した専門的な爪ケアができる看護師のためのマニュアル作成の試み
国立療養所多磨全生園 看護部 治療棟
○山上由美、竹内 文、井口朝美

- O-21 ハンセン病療養所の耳鼻科応援業務における外来看護師の育成
国立療養所多磨全生園 看護部 治療棟
○竹内 文、山上由美、井口朝美
- O-22 当園における転倒事故の関連要因 -効果的な転倒予防策の立案-
国立療養所邑久光明園 リハビリテーション室
○古里貴弘、西尾一也、山崎滉司、井上裕貴、志摩雅昭、河岡志朗
- O-23 新型コロナウイルス感染症陽性後の隔離解除期間の一考察
国立療養所栗生楽泉園
○蛭名久子
- O-24 理学・作業療法室における入所者情報の伝達と共有方法
国立療養所長島愛生園 理学・作業療法室
○三善菜々、泰地治男、三吉博久、梅田雅彦、西村 剛、佐藤志保子、下山憲治、吉川雅文

ポスター I リハビリ/認知症/多職種の役割/その他 (QC活動)

14:00～15:10

座長：齋藤 譲一 (国立駿河療養所 薬剤科長)

- P-1 有痛性の両側変形性膝関節症患者の疼痛軽減に至った一例
国立駿河療養所
○杉井誓子、佐久間誠司
- P-2 奄美和光園の認知症予防対策 ～ABC認知症スケールを導入して～
国立療養所奄美和光園 リハビリテーション室¹⁾、国立療養所奄美和光園 治療棟²⁾、
国立療養所奄美和光園 医局³⁾
○二木琢也¹⁾、今里百合子²⁾、松元くるみ²⁾、馬場まゆみ³⁾
- P-3 コロナ禍におけるA氏のリモート面会がもたらす効果 ～A氏の変化から精神的充足が得られているのかを考える～
国立療養所菊池恵楓園
○鈴木幸子、稗島健一
- P-4 認知症患者への統一した口腔ケアをめざして ～口腔ケア介入の現状～
国立療養所宮古南静園 不自由者棟
○新里貴代、友利和美、平山良彦、大浦桂子、與那覇真奈美、湧川 傑
- P-5 抗菌薬適正使用における薬剤師の関わり ～TDMを円滑に実施するために～
国立療養所邑久光明園
○華山博子、堀部充孝、板野 亨
- P-6 業務マニュアルの見直し
国立駿河療養所 第5センター
○小林麻由巳、山下せつ子
- P-7 薬剤科の環境整備
国立療養所星塚敬愛園 薬剤科
○牧野幸子、内田優香、植村 隆

ポスターⅡ ライフサポート／看護・介護の質の向上／看取り

15:10～16:20

座長：原田 尚子（星塚敬愛園 看護部長）

- P-8 終末期に向けたエンドオブライフケアの実態調査 ～センター看護師・介護員に対するアンケート結果の分析・比較～
国立駿河療養所 第5センター
○塚本郁美、山下せつ子、蒲田祐子、上村佐江子、渡辺利恵、水谷建治
- P-9 A園におけるACP調査シート作成までの過程
国立療養所栗生楽泉園 支援の会
○遠藤則夫、蛭名久子
- P-10 高齢者の生活を活性化するための援助 ～「意思決定プロセスを支援する共有型看護相談モデル」を使用して～
国立療養所松丘保養園
○河田朋子
- P-11 日常生活が自立している入所者の不満の軽減を試みて
国立療養所邑久光明園 2センター
○大隅英子、景山裕恵、吉川幾子
- P-12 ハンセン病後遺症による慢性的な疼痛を抱えたA氏への介入 ～温罨法を取り入れた疼痛緩和を通して～
国立療養所星塚敬愛園 コスモス
○豊崎美雪、岩崎一己、上ノ堀昭子、新宮律子、上村みゆき、谷川仁美
- P-13 スキンテアを繰り返すA氏に対する看護師のケア技術 ～オムツ交換と胃瘻に関わるケアを通して～
国立療養所星塚敬愛園 1病棟
○有留ひとみ、有村さゆり、本中島まり子、船隈まゆみ、山田初江
- P-14 A氏との関わりを振り返りグリーフケアを考える
国立療養所宮古南静園 不自由者棟
○栗国邦博、仲間加代子、友利みどり、大浦桂子、與那覇真奈美、湧川 傑

11月18日(土) 口演会場(御殿場高原ホテル 2F さくらの間)

口演Ⅴ 認知症／看取り

9:00～9:50

座長：金指 秀樹 (国立駿河療養所 副看護師長)

O-25 認知症入所者に対する「見守りタグセンサー」導入の効果 ～その人らしさを視点にしたケアプランの立案～

国立駿河療養所 第2センター

○金丸淳子、山本裕子、富宅田津、米丸栄子、金指秀樹、井上満智代、飯田順子

O-26 国立駿河療養所におけるくもん学習療法の活動報告

国立駿河療養所 くもん委員会

○佐久間誠司、小林麻由巳、小阪美菜子

O-27 睡眠障害のある認知症高齢者の生活リズム改善への取り組み - パーソン・センタードケアを用いて -

国立療養所大島青松園

○谷川貴浩、藤本利貢、森木雅代

O-28 不自由者棟における看取りに対する職員の思いと課題

国立駿河療養所 第2センター

○深田有砂、樽林幸子、富宅田津、金指秀樹、井上満智代、飯田順子

O-29 ハンセン病後遺症を踏まえたエンゼルメイクの質の向上を目指した取り組み

国立療養所邑久光明園 3センター

○平田千津留、奥口由恵、池上雅恵、小野田佳代子、岡本聖子

口演Ⅵ 看取り

9:50～10:40

座長：田崎 明子 (多磨全生園 看護師長)

O-30 Aセンターの看取りに対する看護職の不安や戸惑いの現状

国立療養所菊池恵楓園 第一センター

○本田祐介、鈴木盛一朗、森本貴久江

O-31 看取りを経験した世話人が抱く思い

国立療養所菊池恵楓園 2病棟

○松山友香、米加田浩美、松田五月、吉岡潤子、林田真由美

O-32 A園Bセンターにおける看取りケアの振り返り

国立療養所菊池恵楓園 第三センター

○高木貴美子、松岡伸治、田村春美、翁長 稔

O-33 解決困難な苦しみを抱えた方との関わり

国立療養所多磨全生園 Aセンター

○白石綾子、千葉由美子

O-34 介護員がハンセン病療養所入所者の看取りの中で感じた後悔の念

国立療養所長島愛生園 第三センター¹⁾、ハンセン病倫理研究会²⁾

○尾田祐一¹⁾、谷本 楨¹⁾、来間譲唯¹⁾、川野美小代¹⁾、成本淳子¹⁾、大藪隆昭¹⁾、近藤真紀子²⁾

口演Ⅶ リハビリ／歴史

10:40～11:30

座長：佐久間誠司（国立駿河療養所 理学療法士）

O-35 とろみ剤添加に関する園内基準化に向けての取り組み

国立療養所栗生楽泉園 リハビリテーション科

○廣田良貴

O-36 困っている動作に注目し、楽しみながら日常生活に運動を取り入れる – 超高齢ハンセン病回復者のADL維持にむけた取り組みと成果 –

国立療養所長島愛生園 第一センター¹⁾、ハンセン病倫理研究会²⁾

○小橋 誠¹⁾、久保 礼¹⁾、佐藤 忍¹⁾、田辺里沙¹⁾、岡田由紀¹⁾、田尻枝美香¹⁾、近藤真紀子²⁾

O-37 マットレス選定基準と理学・作業療法士の関わり

国立療養所長島愛生園 理学作業療法室

○泰地治男、三善菜々、西村 剛、三吉博久、梅田雅彦、吉川雅文

O-38 摂食嚥下障害を有するパーキンソン病患者の自発的な代償法について

国立療養所宮古南静園 機能訓練室

○久野隆道

O-39 ハンセン病療養所におけるゲートボールが回復者や地域に及ぼしたもの

国立療養所大島青松園 第2-1不自由者棟¹⁾、香川県立保健医療大学²⁾

○中山敦子¹⁾、藤原満紀¹⁾、藤本利貢¹⁾、森木雅代¹⁾、近藤真紀子²⁾

閉会式

11:30～11:45